

同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

- ①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2018年(平成30年)10月号 No.367 発行: 沖縄県中小企業家同友会 編集: 広報委員会



(有)沖縄ホテル 代表取締役 宮里 公宜 氏

職場環境の充実と10年VISIONで人材を育成

今月の『21世紀に輝く』主人公は、今年で創業七十七年を迎えた(有)沖縄ホテルの代表取締役・宮里公宜さんです。

しそうな実をつけたシークワーサーの木があり、そこには驚くほど緑豊かで静かな空間が広がっています。ロビーに足を踏み入れれば、昔の風景画が飾られており、古き良き沖縄の情緒が漂います。

「当ホテルの事業の柱は、『宿泊』と『飲食』。そして『温浴』。他のホテルはシングルルームが多い中、当ホテルはファミリー向けの大きめの部屋があり、大浴場もあります。ファミリィや合宿、修学旅行生がターゲットです。最近では外資系や本土系も含め、新しいホテルがたくさん出来ていま

すが、沖縄ならではのホテル、という部分を出してお客様に楽しんでもらいたいと思っています。ホテルの特色を宮里社長にお聞きしました。

宮里公宜さんが(有)沖縄ホテルに就職されたのが今から十三年前。当時は本土へ就学しており、ホテルを継ぐことは考えていませんでした。しかし、経営状況が悪く大好きだった祖父が創業したホテルに携わりたいと覚悟を決め地元へ帰ります。

趣味は、ジョギング、サーフィン、旅行ですが、今は仕事と家族中心の生活。宿泊先のホテルでは、どうしても職業柄、いろいろと目に付き気になってしまいうそうです。最後に今後の目標をお尋ねしたところ、「事業については、大企業との差別化を図る為に『医療・介護』、『農業』を加



観光ホテル第一号の歴史 「守礼商才」で今に伝えます

た赤いレンガ造りの建物は現在の敷地内に残っており、当時の雰囲気を感じに伝えます。

「守礼商才」とは、創業七十七年を振り返ると、守礼商才の精神が今に伝えます。

同友会へは二〇一七年一月に入会。同友会での学びの実践として、ホテル休館日を利用した社員全員参加の経営戦略合宿。三日間に渡り経営戦

略・十年VISIONなどの共有をはかります。経営理念は「守礼商才」。創業者の意思を創業理念として残し、経営理念は社員と一緒に考えて作成しました。

え、多柱化による柱の掛け合わせで『のびしろ』を大きくしたいと考えています。経営に関しては、社員一人一人が中心となり、全員が経営していく体制にしていきたいです。また、建物の老朽化対策として、ホテルの建て替えを検討しています。内部環境と外部環境を見極めて経営に向き合う姿は、観光の父とよばれ、継がれていると感じました。(聞き手・南部支部・岩田進司)

《会社概要》 (有)沖縄ホテル 代表取締役 宮里 公宜 氏 (那覇支部) 所在地/那覇市字大道35 TEL/098-884-3191 事業内容/ホテル事業(宿泊、宴会、レストラン) URL/http://www.okinawahotel.co.jp

第13回 雇用・就労支援フォーラム 2018年10月27日(土) 12:00~18:30 (11:30受付開始) 会場 基調講演(メイン): 与那原町観光交流施設(上の森公園内) 分科会: 与那原町観光交流施設・与那原町商工会・他 資料代(交流懇親会費) 一般 1,000円 同友会会員 2,000円

安室奈美恵が引退した。かつて芸能人やプロスポーツマンなど数々の引退があつたが、安室の引退は他の誰とも大きく違つていた。おそらく全国のどこよりも地元から熱狂的ありがとうコールが放たれたと思う。最後の最後まで人前で語ることはほとんどなかった安室。いや、率直に言つて人前で話ができない安室だつたから全力で歌ひ踊るだけのステージとし、二十五年間ひたすら愚直に努力したのではなかつたか? そのエネルギーは人々の中でパワーとなり、日本の歌姫となつた。それがウチナンチュに勇気と元気を与えたのは至極当然だと思ふ。安室に続いてその後、沖縄から数多くの芸能人が育つていった。沖縄の歴史と民族が抱えてきた負の歴史は、簡単に無くならない。知識も学歴もお金もなかつた安室奈美恵の二十五年に渡る軌跡の記録は、これからも長く私達が共鳴する意識として沖縄をも鼓舞してくれるであろう。芸人が、安室と一緒にステージを踊るといふ仕事を担当したというストーリーが、躍りかすたイックで鍛えられてきた。初めは、お疲れの人生は、もつと自分の為に使つてほしい。

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ141

**伝えてますか？
小さな発想を蓄積する仕事の魅力**

「求人しても応募者が来ない。採用してもすぐ離職する、人手不足」、最近の全ての業種の共通話題。課題は「職場の定着率アップと人材育成」です。

転職した若者にインタ
ロキです。

一見、労働条件や福利厚生が良ければ、人材採用に困らないと思いがちです。しかし、社員が「この職場で働き続けたい」と思うのは、賃金だけでなく、「仕事のおもしろさと働きやすさ」のよう



何でしょうか。
同友会の経営者なら、自身の体験から「仕事のおもしろさ」をいくらでも伝えることができま

「仕事の魅力と面白さ」をどんどん伝えましょ

夫の繰り返しと経験の蓄積が、個人と会社を強くし、社会を発展させていくのです。

育てる職場に必要なことは、「良い雰囲気や空気がある。」ことが基本です。同友会の例会の事例発表は大いに参考になりますね。

（プロフィール）
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
オフィスあるふぁ
TEL 098-870-6686

青山喜佐子
（オフィスあるふぁ代表）



**包括連携協定締結調印式
琉球銀行との包括連携に
期待の声高まる！**

九月四日、沖縄産業支援センターにて琉球銀行との包括連携協定の調印式とそれを記念した「わくわくフォーラム」が五十二名の参加で開催されました。

提携した協定には、① 会員企業の相談への対応 ② 琉球が開催するビジネスマッチングなどへ参加 ③ 相互の研修会やセミナーに参加し、講師派遣



出資を募り拡大できる方法を一緒に検討してもらえそうだ」等、大きな期待の声が多数出ました。

今後は、支部単位でも銀行との懇談会を開催しながら、お互いに親睦を深め、良い経営環境づくりに取り組みましよう。

（石原地江）

第30回輝く女性経営者のつどい
**隣接異業種と
自社との関係性を常に考える**



山口氏の話熱心に聞く参加者



の会主催の「第三十回輝く女性経営者のつどい」が開催されました。今回は、話題の経済学者であり立教大学名誉教授の山口義行先生を講師にお招きし「女性の視点が新たな勝機に」隣接異業種

九月十九日に南風原町中央公民館において、南部支部と琉球銀行の各支店長との懇談会並びに経営学習会が開催されまし

**南部支部経営学習会
琉球銀行の支店長と
共に学ぶ**

た。

竹富久南部支部長より支部活動の報告をしたのち、懇談会で意見交換を交わし「ビジネスサポートシート」を活用した例



もでました。引き続き行われた経営学習会では、

総合包装（株）・会長の宮城勇副代表理事から「『人を生かす経営』の実践」をテーマに、同友会活動と企業経営は不離一体をテーマに報告いただき、グループ討論を通して参加者全員が同友会で得た学びを自社に持ち帰り実践することを確認しました。

南部支部では今後役員会で「人を生かす経営」の本を読み合わせ、学びを深めていきます。

（竹富久）

も通ずる言葉で、連携への期待を語りました。続いて琉球銀行法人部より事業説明が行われ、その後、「医療福祉」、「事業承継」、「法人成り」、「M&A」、「EB推進グループ」の五つのテーマに分かれ討論を行いました。

日ごろ疑問に思っていることや、融資以外にどんなサポートが可能か等様々な角度から質問が上がり、銀行からは「りゅうぎんが出来る事」のパンフレットや、琉球ビジネスサポートシート等、具体的なツールを使って丁寧に解説いただきました。

討論発表で、「個人事業から法人へのアドバイス各種信託の活用方法が聞けた」、「M&Aについて昔ほど暗いイメージはなく、事業を残すためにも

5%の挑戦」と題した講演内容。著名な経済番組にも数多く出演されている山口先生の話を直に聞けるチャンスとばかりに当日は三〇〇名余の申し込みがあり、多くの参加者で大盛況でした。

山口教授は、技術革新に伴う産業構造の変化のスピードは早く、中小企業の経営環境に大きく影響を与える。中小企業だ

からこそ変化する社会情勢にアンテナを向け、自社との関係性を常に考える視点を持つことが大切と話しました。さらに、

聴器を提案するオーダーメイド型の補聴器で成功している事例などを紹介しました。

さらに、いかに自社から情報発信することが重要かを説き、大手小請けの中小部品メーカーがブログで毎日「N A S A と仕事をしたい」と題し、ブログを更新し続けた結果、本当にN A S A と仕事をできる機会ができたという驚きの事例もありました。

山口先生の熱い話に影響されグループ討論も、二十余りのテーブル全てで行われ、白熱した意見が交わされ、参加者は多くを学び、満足した表情でした。

その後の懇親会では山口先生を囲み、会員・ゲストの方含め親睦を深めました。（根橋理香）

未来の仕事づくりに アイデア提案!

九月十五日、ビジネス連携ワークショップが二十名の参加で開催されました。ビジネス連携部会「ゆいま〜る」では、「みんなが新事業!わくわくワークショップ」と題して、未来へ向けて新しい仕事づくりへのアイデアを参加者全員で出し合う学習会を、八汐荘にお



アイデアで話しに花がさく

いて開催。

昨年十月に設立されたビジネス連携部会「ゆいま〜る」では、積極的な異業種間の情報交換やビジネス協力・連携で自社の強みを出し合える場を提供していくとの趣旨で、朝九時から夕方五時までの長丁場のワークショップでしたが、議論伯仲、時間が足りないくらいの大盛況でした。講師はカナイ経営支援研究所(株)・代表の比嘉智明氏(那覇支部会員)、沖縄県ITイノベーション戦略センター職員の兼村光氏(那覇支部会員)。内容は、①事業領域(事業ドメイン)の決め方②各社のSWOT(自社の強み弱み分析)とクロスSWOT(強み弱みの

掛け合わせ) ③ビジネスモデルキャンバスを用いた協業ビジネスモデルの作成(新しいビジネスの実現に向けたディスカッション)などが行わ

第46期経営指針作成講座修了式 修了生より「指針」を報告

九月五日、沖縄産業支援センターにて第四十六期経営指針作成講座報告会&修了式が三十三名の



修了生を囲んで集合写真

れ、参加者からは「続きをやりたい!」などの声が寄せられ、好評の内に幕を閉じました。(取材:株夢づくり沖縄・新井良直)

参加で開催されました。第四十六期受講生二十一名の内、十三名が講座で学んだことの報告を経営理念シート・経営方針シート・十年ビジョンシートを使って一人ひとり報告。報告の後は、その受

浦西支部大名刺交換会 会員・ゲスト、 名刺交換と親睦を深める

九月十四日、浦西支部大名刺交換会が、ケニーズ新都心店にて開催されました。

高原勝也浦西支部長の開会挨拶の後に、青年経営者全国交流会実行委員会略(「青会主文」)から「青全交」参加への呼びかけが行われ、名刺交換会がスタートしました。

立食にて行われたこともあり、会員同士もゲストも気軽に交流を図ることが出来て、企業PRもゲストを含めて多くの方に発表して頂きました。結果、週末の忙しい時期にも関わらず、参加者は四十七名(会員二十九名、社員・ゲスト十八名)と

講生に対して、経営委員や受講中フォローしたサポーターから気づかせる質問やさらに深める投げかけがなされ、ほかの受講生の報告からも学びが得られる報告会でした。その後、比嘉良太経営委員長より修了生に修了証の授与を行い、今日が終わりではなく第一歩。社員への浸透などこれから色々も課題がでてくるけれど、お互いに頑張っていこう」と言葉が贈られました。

次回は、来年一月を予定していますので、ぜひご参加下さい。(事務局)



みんなでハイチーズ!

碧の会 サマーパーティー 共に学びましょう!

九月十三日、パシフィックホテル沖縄にて女性経営者部会「碧の会」サマーパーティーが開催されました。大盛況

のうちに幕を閉じる事が出来た「第三十回輝く女性経営者のつどい(前段記事)」に参加していただいたゲストの皆さんにもっと「碧の会」の魅力を伝えたい、そして、会員間の交流を深めてもらおうと、会員交流委員会が初の試みで企画し、総勢二十八名(内ゲスト五名)の参加となりました。「碧の会」に入って良かった事をテーマにプチ体験報告と志向を凝らした、くじ引きインタビュー

最後に武田春美 碧の会 会員交流委員長より閉会の挨拶で「即行動が大切。碧の会でみんな一緒に学んで行きましょう」と力強い言葉があり、ゲスト参加者の二名がその場で入会!という素晴らしいパーティーになりました。(黒岩珠枝)



自社で取り組むヒントを話し合う

北部支部6次産業化委員会学習会 コーディネートとしての 自社の役割に気づく

九月三日、沖縄産業支援センターにて北部支部6次産業化委員会学習会が四十二名の参加で開催されました。北部支部はこの間、6次産業化について支部独自で学んでおり、どの業種でも関係する6次産業化について同友会のメンバーに広く伝えたいとの想いから那覇市での開催に至りました。

「六次産業化の推進について」をテーマに総合事務局 農林水産部 食料産業課 食品産業振興係長の前里仁志氏より「農業を1次産業としてだけでなく、加工のなどの2次産業からサービスや販売などの3次産業までを一本化した産業として農業の可能性を広げる考え

方や事業計画認定に取り組む企業の事例を挙げながら沖縄における6次産業化の意義について語りついでいただきました。引き続き、「工業技術センターの紹介と食品加工技術支援の取組みについて」のテーマで、沖縄県工業技術センター企画管理班 研究主任の平良直秀氏と食品・醸造班主任研究員の玉村隆子氏を紹介を食品加工技術支援

の取組みについて、事例を交えながら話していただきました。講演の後のグループ討論では、自社で六次産業化を活かすには何が必要かなど意見交換し学びを深めました。参加者からは、「仕事上、6次産業化に向けて自社がコーディネーターとしての役割があると思う」、「相談や支援がきちんと受けられる仕組みがあることを知ったし、相談しに行きたいと感じた」、「商品開発など、同友会での取り組み事例をもっと聞きたい」などの声が寄せられ、6次産業化への学びの必要性を改めて感じました。その後は、講師を囲んで懇親会を行い、支部で会えない他支部との交流も深めることができました。(事務局)

沖縄の中小企業の数

- ① 中小企業の数 四九、二五八社(二〇一四年)
- ② 一九九九年〜二〇一四年の十五年間で一〇、五四九社(▼十七・七%)減少
- ③ 廃業数>開業数
- ④ 廃業数は倒産件数の七・六倍(二〇一七年)
- ⑤ 経営者の約半数が後継者問題で廃業を考えている。
- ⑥ 後継者不在率八四・三% 全国ワースト一位(二〇一七年)
- ⑦ 経営者六十歳以上の後継者不在率七二・二% 全国ワースト一位(二〇一七年)



代表 星崎浩一氏
098-999-1117 53

オフィス星崎
代表 星崎浩一氏
098-999-1117 53



グループで意見交換し学びを深める

た。「六次産業化の推進について」をテーマに総合事務局 農林水産部 食料産業課 食品産業振興係長の前里仁志氏より「農業を1次産業としてだけでなく、加工のなどの2次産業からサービスや販売などの3次産業までを一本化した産業として農業の可能性を広げる考え

方や事業計画認定に取り組む企業の事例を挙げながら沖縄における6次産業化の意義について語りついでいただきました。引き続き、「工業技術センターの紹介と食品加工技術支援の取組みについて」のテーマで、沖縄県工業技術センター企画管理班 研究主任の平良直秀氏と食品・醸造班主任研究員の玉村隆子氏を紹介を食品加工技術支援

の取組みについて、事例を交えながら話していただきました。講演の後のグループ討論では、自社で六次産業化を活かすには何が必要かなど意見交換し学びを深めました。参加者からは、「仕事上、6次産業化に向けて自社がコーディネーターとしての役割があると思う」、「相談や支援がきちんと受けられる仕組みがあることを知ったし、相談しに行きたいと感じた」、「商品開発など、同友会での取り組み事例をもっと聞きたい」などの声が寄せられ、6次産業化への学びの必要性を改めて感じました。その後は、講師を囲んで懇親会を行い、支部で会えない他支部との交流も深めることができました。(事務局)

た。「六次産業化の推進について」をテーマに総合事務局 農林水産部 食料産業課 食品産業振興係長の前里仁志氏より「農業を1次産業としてだけでなく、加工のなどの2次産業からサービスや販売などの3次産業までを一本化した産業として農業の可能性を広げる考え

社長・社員共育塾第3講 思いやりを繋いでいく



松本美帆氏

を拡大する最中、突然四人の社員から同時に辞表を出るといふ大変ショッキングな状況を体験します。そして自問自答し、一人で突っ走り、店長さんや社員さんとの関係性からコミュニケーションの不足を痛感。いくら立派な理念やビジョンを掲げても、社員さんとのコミュニケーションや対話が無いと成熟した組織にならないという事に気づき、同友会の経営指針をつくる会で学び、理念浸透の仕組みを作り、理念経営に取り組みます。

に役割を申し出るようになった事と「恩送り制度」してもらった恩を後輩にしてあげるといふ思いやりを繋いでいく仕組みです。松本氏は「社長と社員は対等。しかし、言葉が足りない」と誤解を招く。相手を知り、相手の得意・弱いところを知る事で思いやりの気持ちが出てくる。上に立つ人の姿勢として、違いを認め

第4回新人フオロアップ研修会 「悩みや挑戦したいこと」語り合おう！



映像で同友会の魅力伝える

九月二十日、沖縄産業支援センターにて九月新会員オリエンテーションが十七名の参加で開催されました。今回は浦西支部が設営となり、(有)大平シー印刷の比嘉一成社長より紙芝居で同友会の活用法を伝え、会員体

新会員オリエンテーションin浦西 5名の新会員さんが仲間入り！

九月二十日、沖縄産業支援センターにて九月新会員オリエンテーションが十七名の参加で開催されました。今回は浦西支部が設営となり、(有)大平シー印刷の比嘉一成社長より紙芝居で同友会の活用法を伝え、会員体

九月十八日、沖縄産業支援センターにて九十九名の参加で社長・社員共育塾第三講が開催されました。(有)茉莉華・社長の松本美帆氏を講師に「理念経営の実践」をテーマに講演していただきました。一九九五年に自宅にて一人でスタートしたサロンは右肩上がりに業績を伸ばし、一九九八年に同友会に入会、その後、事業

九月二十五日、沖縄産業支援センターにて第四回新人フオロアップ研修会が一〇七名の参加で開催されました。今回の報告は「先輩からの体験報告」をテーマに、(株)アイリスエステサロンの前

第6回 人を生かす経営全国交流会 in宮崎

九月十三日、十四日、宮崎県で第六回人を生かす経営全国交流会が五四〇名の参加で開催されました。十一月に沖縄で開催する全国行事「第

四十六回青年経営者全国交流会(略・「青主文」)のPRができる最後の全高行事で沖縄から十一名が参加しました。

翌日は基調報告として二氏より宮崎県中小企業家同友会からビジョンづくりの取り組みと全国の実践事例を交えて「地域のインフラ」の報告がありました。

参加者より「経営指針作成講座をいかに落とし込むか悩んでいた。方向性を立て、社員と共に成長したい」、「障害者雇用に向けてチャレンジしてみたい。また、経営理念を再度、会社の仲間と共に考えたい」と感想が寄せられました。(事務局)

宮古支部例会

ドローンの魅力と活用を学ぶ

九月十二日、マリントーミナルにてmeet合同会社の下地健介代表による「ドローンの活用とその留意点」をテーマに宮古支部例会を十七名の参加で行いました。

難な場所への測量やインフラ設備のメンテナンス、農業分野での活用、水中ドローンも開発され、その活用方法が多岐にわたることが紹介されました。

このニライみらいでも中々、お逢いできない方の報告や活動状況、参加出来なかった例会の報告などを見て勉強する事が出来るので大変重宝しています。

このニライみらいでも中々、お逢いできない方の報告や活動状況、参加出来なかった例会の報告などを見て勉強する事が出来るので大変重宝しています。

このニライみらいでも中々、お逢いできない方の報告や活動状況、参加出来なかった例会の報告などを見て勉強する事が出来るので大変重宝しています。

このニライみらいでも中々、お逢いできない方の報告や活動状況、参加出来なかった例会の報告などを見て勉強する事が出来るので大変重宝しています。

読者の声

同友会は経営者や幹部が成長し学ぶために叱咤激励・直言を受ける場所と思っております。私は耳の痛い御意見や御指導を他の経営者から頂き自分の会社、社員さんをより良くするために、緊張し襟を正して参加しています。

お悩みの答え **ANSWER** 国の人材育成機関

中小企業大学校 人吉校

新任管理者研修

【沖縄教室】

人吉校で人気の研修を沖縄で開催します！

研修期間 平成30年
11/8木~9金

受講料 22,000円(税込)
会場 沖縄産業支援センター 沖縄県那覇市字小嶺1831番地1

お問い合わせ先
中小企業大学校 人吉校

〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町梢山1769-1
TEL: 0966-23-6800 (平日9:00~17:30)
FAX: 0966-22-1456

申込書は人吉校ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXにてご送信ください。また、人吉校ホームページからはオンラインでのお申込ができます。